

「(仮称) 神戸市歴史公文書館整備に向けた基本的考え方 (素案)」
に関する市民意見に対する本市の考え方

- 募集期間：令和4年9月29日（木曜）から令和4年10月28日（金曜）まで
- ご意見数：17件（2通）

※ 市民意見に対する本市の考え方において、「(仮称) 神戸市歴史公文書館」を「歴史公文書館」、「(仮称) 神戸市歴史公文書館整備に向けた基本的考え方」を「基本的考え方」と記載しています。

番号	意見の内容	意見に対する本市の考え方
歴史公文書館の施設や設備、機能に関する意見		
1	貴重な歴史的公文書の保管場所を、葺合の高台から、東南海地震などの津波浸水被害が想定される地域に移すことの是非が全く検討されていない。	歴史公文書館の整備予定地は、兵庫県津波浸水想定図において浸水が想定される区域に該当していませんが、歴史的公文書等を将来にわたって適切かつ安全に管理できるよう、施設整備にあたっては耐震・耐水害等の対応を行います。
2	トイレが2階だけで男女共用であるが、3階にも以前の設備があるので修復願いたい。	<p>歴史公文書館のトイレについては、新たに建設する別館（新設棟）の1階に男女別にトイレを設置する予定としています。</p> <p>本館（旧岡方倶楽部）については、展示室や資料収蔵庫などを配置する必要があり、スペースが限られるため、同じフロアに男女両方のトイレを設置すること、また全てのフロアにトイレを設置することは困難と考えています。</p> <p>そのため、2階のトイレは廃止し、現在の予定で常設展示を設ける1階と講堂を設ける3階に分けて男性用と女性用を設置することを考えています。</p>
3	周辺には兵庫津の史跡が多く存在し、最近それらを巡る街歩きが増えている。コースの中間点にありトイレが近辺になく、市民トイレとして開放していただきたい。	歴史公文書館の開館中は、市民トイレとして、館の利用者以外の方にも利用いただけるようにしたいと考えています。
4	来館は高齢者が多く、3階まで階段以外の方策も必要と感じる。	本館（岡方倶楽部）は、スペースが限られており、エレベーターを設置することは難しいと考えています。そのため、別館（新設棟）にエレベーターを設置し、渡り廊下で別館と本館を接続することで、階段を利用することなく上層階に移動できるようにしたいと考えています。

番号	意見の内容	意見に対する本市の考え方
5	開設時、珈琲を招待者に出した経過があるように、1階（3階）部分はサロンの要素でレトロな珈琲サロン場にするとともに、運営は地域団体委託を望む。	このたび整備を行う歴史公文書館は、後世に残すべき重要な公文書である歴史的公文書や古文書等の地域歴史資料の収集・保存等を行うための施設です。このような整備趣旨を踏まえ、書庫や展示室などの必要な機能を確保するための面積を考慮すると、珈琲サロン場を設けることは難しいと考えています。
6	歴史と共に建物の構造に興味を持たれる方が多いので、資料以外にもその視点での方策も必要である。	歴史公文書館の本館となる旧岡方倶楽部は、国登録有形文化財で貴重な建造物であることから、外観や内装等については、歴史的価値を損なわないよう留意するとともに、市民や来館者に建物の歴史や建築物としての特徴を分かりやすく伝えられるように工夫したいと考えています。
7	岡方倶楽部の歴史的価値がわかるよう、説明表示の上、民間人が気軽に行けるように堅苦しくない建造物として可能な限り『万人受けするお洒落なデザイン空間』にして頂きたい。	なお、2階部分については、主に資料収蔵庫として利用することを考えており、セキュリティの観点から職員専用のスペースとする予定です。そのため、テラスを開放することは難しいと考えていますが、建物の歴史や特徴も含めて、歴史公文書館が市民の皆様にも親しまれ、活用される施設となるよう整備を進めてまいります。
8	岡方倶楽部空間を『クラシックモダン』として提案したい。	
9	兵庫津の歴史遺産シンボルとしてあってほしい。	
10	昔の岡方倶楽部の写真や近郊の写真があると良い。	
11	2階のテラス部分は景観的に重要であり過去も入場要望が多くあった。	
12	境内に神戸駅から和田岬までぐらいの観光案内マップを設置願いたい。	現在、兵庫運河及び兵庫津周辺回遊性向上の一環として、旧岡方倶楽部を含めた兵庫津周辺の案内サインの整備を進めているところですが、今後も歴史公文書館を含む周辺の観光案内については、兵庫津ミュージアムや近隣施設とも連携しながら、検討していきたいと考えています。

番号	意見の内容	意見に対する本市の考え方
講演会や展示などの事業に関する意見		
13	兵庫の歴史を市民に広く知ってもらうために講演会や資料展示を開催してほしい。	歴史公文書館の本館（旧岡方倶楽部）には、講堂の機能を設け、神戸の歴史や文化等に関する企画展や各種講座等を実施する予定としています。 これらを通じて、市民の皆様が親しまれ、活用される施設となるよう取り組んでいきたいと考えています。
14	3階部分の利用は歴史ファン交流の場としても活用を考えていただきたい。	
その他の意見		
15	岡方惣会所があった敷地に、地域の有志の方が資金を出し合って建設した建物であり友好倶楽部として活用されていた。そうした歴史を考え、『岡方』というのを建物名に入れてほしい。（例：神戸市立 岡方歴史公文書館、神戸市立 歴史文書館 岡方倶楽部 等）	歴史公文書館は、神戸市域における後世に残すべき重要な公文書である歴史的公文書や古文書等の地域歴史資料の収集・保存等を行うための公の施設として整備します。このような整備趣旨や神戸市民の皆様への分かりやすさという観点から、施設の名称に特定の地域名を入れることは難しいと考えていますが、旧岡方倶楽部の歴史や建築物としての特徴を市民や来館者に分かりやすく伝えられるように工夫したいと考えています。
16	池長孟氏から、現在は神戸市立博物館に収蔵されている南蛮美術品コレクションと併せて、寄贈された歴史的建造物である旧池長美術館の、公文書館機能移転後の活用方針が全く示されていない。伊東忠太設計による大倉集古館、薬師寺主計による大原美術館本館などと共に、戦前期における私設美術館の建築物として、また住友総本店臨時建築部で活動した小川安一郎の設計作品としても貴重で、阪神大震災を耐え抜いた歴史的建造物である現文書館建物は、例えば神戸市各部局や、神戸アーカイブ写真館で管理する、建築物の図書類や、都市形成史に纏わる写真、地図、図書を総覧できる様な施設として引き続き活用をするべきである。民間に売却して集合住宅にしてしまうなどのもつてのほかである。	現神戸市文書館の機能移転後の活用方針については現時点では未定ですが、地域の景観形成にも重要な歴史的な建築物であることを踏まえ、有効に活用できる方策を検討していきたいと考えています。

番号	意見の内容	意見に対する本市の考え方
17	開設準備委員に地元代表者を入れて頂きたい。	歴史公文書館の整備については、開設準備委員会の設置は考えておりませんが、今回募集した市民意見も踏まえて策定する基本的考え方に基づいて進めることとしており、市民の皆様にごできるだけ分かりやすく整備状況をお伝えできるよう工夫してまいります。